

米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向(速報)

1 販売数量の動向(前年同月比)

	31年 1月	2月	3月	4月	元年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小売事業者向け	98.4%	97.8%	97.5%	100.6%	95.0%	94.4%	98.7%	95.1%	100.6%	95.9%	97.3%	98.8%
中食・外食事業者等向け	98.2%	100.0%	99.2%	98.3%	98.0%	94.4%	99.8%	98.7%	97.3%	98.1%	95.1%	97.2%
販売計	98.3%	98.8%	98.3%	99.6%	96.3%	94.4%	99.2%	96.8%	99.1%	96.9%	96.2%	98.0%

	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小売事業者向け	101.0%	111.5%	123.7%	109.6%	95.3%	103.5%	103.2%	104.6%	101.6%	103.0%	100.7%	107.9%
中食・外食事業者等向け	98.4%	99.3%	88.5%	74.9%	75.6%	89.0%	86.4%	84.9%	88.7%	91.9%	91.8%	92.1%
販売計	99.7%	105.9%	107.5%	94.0%	86.4%	97.1%	95.4%	95.2%	95.8%	97.8%	96.5%	100.3%

	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小売事業者向け	106.5%	95.7%	84.2%	92.0%	108.1%							
(※令和元年との比較)	(107.6%)	(106.8%)	(104.2%)	(100.8%)	(103.0%)							
中食・外食事業者等向け	87.0%	87.5%	102.6%	121.2%	115.3%							
(※令和元年との比較)	(85.6%)	(86.9%)	(90.8%)	(90.8%)	(87.2%)							
販売計	97.0%	92.2%	91.1%	102.5%	111.0%							
(※令和元年との比較)	(96.7%)	(97.6%)	(98.0%)	(96.3%)	(95.9%)							

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

2 販売価格の動向(前年同月比)

	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小売事業者向け	102.2%	101.8%	101.5%	100.3%	101.1%	100.6%	100.6%	99.8%	99.3%	99.5%	99.3%	98.4%
中食・外食事業者等向け	99.9%	99.6%	99.7%	99.7%	100.0%	99.5%	99.8%	100.0%	99.6%	100.0%	99.1%	98.2%

	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小売事業者向け	97.3%	96.4%	95.9%	95.2%	95.1%							
中食・外食事業者等向け	97.9%	96.9%	96.3%	96.6%	96.8%							

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 調査対象業者は、年間玄米仕入数量50,000トン以上の販売事業者（年間取扱数量約160万トン（令和2年産生産量723万トンの約2割））である。

2 上記の数値については、調査対象者が販売している精米の全体の数量・価格の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

3 速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。